

土木・建築 — 連携の深化を求めて

土木学会と日本建築学会とは、2021年11月に協力に関する覚書(MOU: Memorandum of Understanding)に署名・交換を行った。その後、合同タスクフォースのもと共通テーマのWGを立ち上げ、連携活動を継続している。タスクフォースの活動を出来るだけ多くの方に知って頂くために、年に一度両学会の正副会長会議の時に合同シンポジウムを行っている。

今回の第3回シンポジウムでは、まずは昨年度両学会により行ったアンケートの更なる分析結果などをはじめ、各WGの活動報告を行う。加えて、令和6年能登半島地震での災害調査対応の報告を行った上で、両学会の連携経験を踏まえながら、更なる連携活動や連携活動を深化させるための課題や今後の連携のあり方について議論する。

共催 土木学会、日本建築学会
日時 2024年12月9日(月) 13:00~15:00
会場 建築会館会議室(東京都港区芝5-26-20)
オンライン会場 (Zoomミーティング)

13:00 はじめに 今村 文彦 (土木・建築TF委員長/
土木学会副会長/東北大学教授)

13:05 各WGの活動報告

- 1) アンケートWG 中村 光 (WG幹事/名古屋大学教授)
- 2) 社会価値WG 今村 文彦 (WG主査/東北大学教授)
- 3) 構造設計基本WG 横田 弘 (WG主査/北海道大学名誉教授)
- 4) 災害連携WG 久田 嘉章 (WG幹事/工学院大学教授)
- 5) 脱炭素WG 松本 亨 (WG主査/北九州市立大学教授)
- 6) DX-WG 蒔苗 耕司 (WG主査/宮城大学教授)

14:15 意見交換「両学会連携—連携のさらなる深化を求めて」

- 1) 両学会連携活動の事例
 - ・令和6年度能登半島地震の災害調査報告(地震や豪雨による複合災害)
 - ・能登半島地震の経験等を踏まえた両学会の更なる連携活動
- 2) 連携における課題整理
 - ・情報共有、役割分担、コーディネーションボトルネック
- 3) 両学会連携の方向性と期待

進行 今村 文彦 (土木・建築TF委員長/
土木学会副会長/東北大学教授)

14:55 まとめ 広田 直行 (土木・建築TF委員長/
日本建築学会副会長/日本大学教授)

参加費 **無料** (要事前申込み)

定員 建築会館会議室 50名、オンライン会場 280名

申込み 建築会館会議室
[参加申込ページ](#)



オンライン会場
[参加申込ページ](#)



※ 入場方法は、申込み完了後メール送信される「お申込み受付完了通知」をご覧ください。

問合せ 日本建築学会事務局(加藤) 03-3456-2057 / kato@aij.or.jp